
赤潮情報（定期赤潮調査結果）

鹿児島県水産技術開発センター
 平成21年7月15日

八代海赤潮情報No.4

[1] 7月14日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点において着色域は確認されませんでした。

有害種は、調査海域北部を中心に、カレニア ミキモトイが確認されました。(1~15cells/ml)。また、1定点の水深10m層でシャトネラ アンティーカが確認されました(1 cells/ml)。

※各調査点の細胞数は下図を参照

(2) 海況

表層水温は八代海全域で24.8~27.0℃で平年同時並、塩分は31.6~33.6で透明度とともに平年同時期よりやや高めとなっています。

水温(表層):平均 25.8℃ (26.2℃)
 塩分(表層):平均 32.9 (30.5)
 透明度 :平均 9.5m (8.2m)

()はH元~H20年7月の平均値(同平年値)

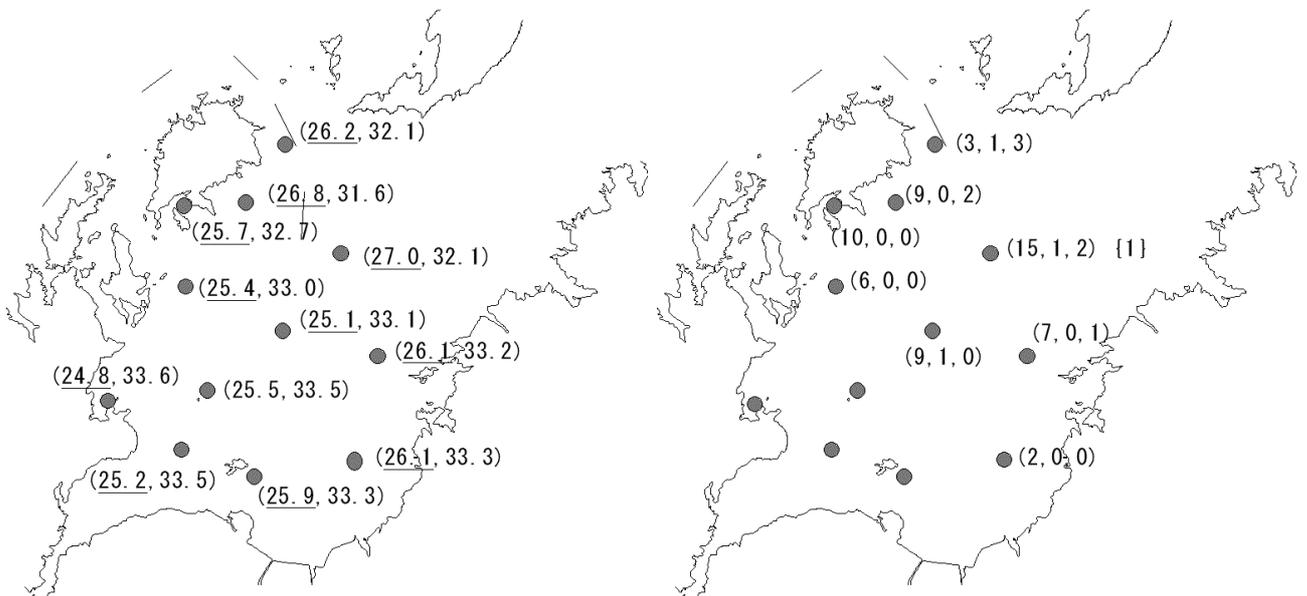
[2] 今後の赤潮発生の予想

今回の調査では、カレニア ミキモトイとシャトネラ アンティーカが確認されました。熊本県は6/30に八代海におけるカレニア ミキモトイの赤潮警報を発令し継続中、またシャトネラ アンティーカについては7/14付けで八代海における赤潮警報が発令されたところです。

海況、天候次第では、本県海域でも増殖する可能性がありますので注意が必要です。

今後とも、定期的な検鏡等により十分な監視を行って下さい。

次回調査は7月22日の予定。



(表層水温(℃), 表層塩分)

※ ()内はカレニア ミキモトイの表層, 5m層, 10m層の細胞数(cells/ml)

※ { }内はシャトネラ アンティーカの10m層の細胞数(cells/ml)

赤潮情報(携帯用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>